

外町講座 「蕨宿をゆく」マップ

浦和のお宝スケールを持って外町を歩いてみよう ⇨マップNo.21参照

和楽備神社

WARABIJINJYA



稲荷社(旧本殿)



①和楽備神社

室町時代洪川公が館を構え、この蕨城の守護神をして八幡大神を祭ったのが始まりと伝えられている。明治44年 蕨町内の18の小社を合併して「和楽備神社」と改称。

- ・上図 稲荷社(旧本殿) 江戸前・中期の一間社流造り。
- ・下図 天神社(墓股) 江戸時代前期の一間社流造り。墓股の意匠は沢瀉(おもだか)。



天神社墓股

わらびりんご誕生の地は錦町

▼調神社

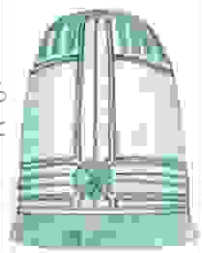
旧本殿 享保18年(1733)
脇障子・墓股は波を蹴る兔などの意匠

④長泉院 梵鐘

宝暦8年(1758)に造立されたもの。乳のかわりに梵字が鑄だされ、撞座が4つあるなどの特色があり、音色の良さから時を知らせる「おしゃみの鐘」として人々に親しまれている。

▼西堀医王寺

梵鐘 宝暦14年(1764)



長泉院 梵鐘

▼印は浦和にあり、ぜひ蕨と対比してみたいところ

②蕨城址公園(御殿跡)

▼常盤公園 御殿跡

成年式発祥の地碑

▼埼玉サッカー発祥の地碑

③蕨市役所他

わらびりんご誕生の地(錦町)

▼廓信寺前 紅赤誕生の地

⑤歴史民俗資料館(本陣跡)

▼仲町公園

⑥西山仏具店

⑦あげ橋・町場を囲む用水

⑧三学院

新義真言宗智山派。

平安時代中期の長徳4年(998)に開山したといわれている。本尊・木造11面観音菩薩立像 平安時代後期とされる。

万治元年(1658)造立の目疾地藏ともいわれる地藏や、元禄7年(1694)造立の子育地藏などがある。

仁王門 寛文2年(1662) 壬寅

▼玉蔵院

地藏菩薩 平安時代後期

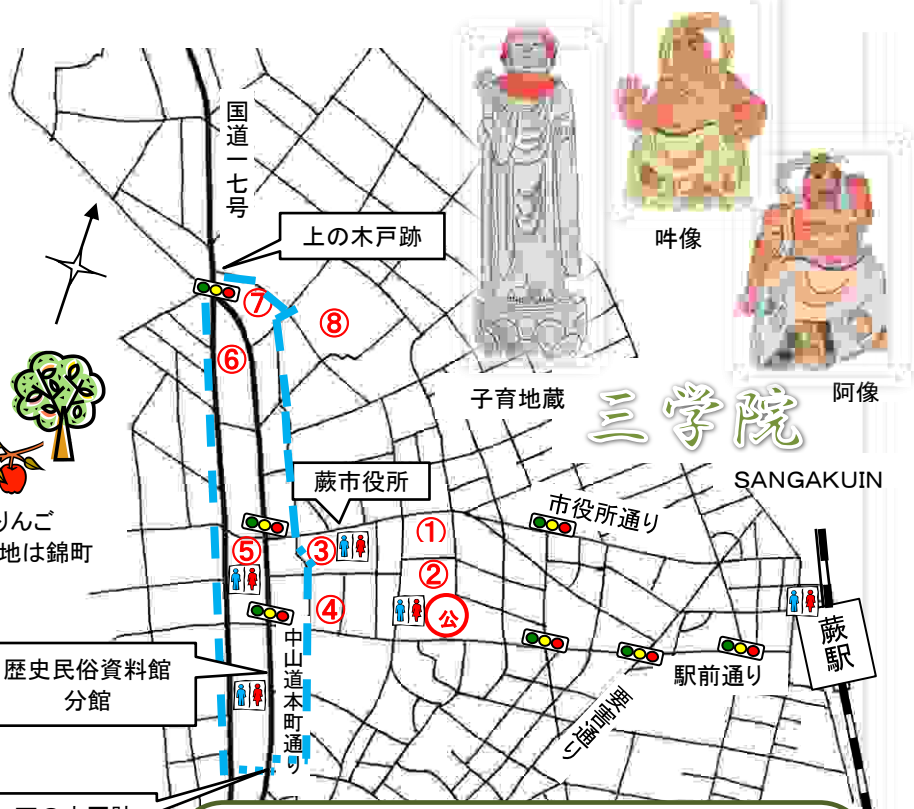
▼廓信寺

仁王像 元和2年(1616)

仁王門 江戸中期

▼一乗院

仁王門 三棟造り 明和5年(1768)



蕨宿は、中山道の宿として慶長17年(1612)頃に成立していたといわれています。宿の南北は10町(1090m)ほど。本陣(2軒)、脇本陣(1軒)、問屋場、旅籠などがあり、周辺は農村部でした。宿の周囲を用水掘で囲み(点線)、防犯、防火、農業用水として使われていました。中世には一六の市がたち、近世にはさまざまな商店ができ毎年7月と12月に市がたちました。

※見学先の迷惑にならないようにしましょう